

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
離島・へき地医療学講座
平成 27 年度業績報告

離島・へき地医療学講座
教授 前田隆浩
助教 山梨啓友
助教 信吉正治

平成 16 年 5 月 1 日、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科に長崎県と五島市による寄附講座「離島・へき地医療学講座」を開講し、離島での活動拠点として長崎県五島中央病院内に「離島医療研究所」を設置した。この研究所を活動拠点として、主に地域医療教育と離島医療に関する調査・研究を行い、離島・へき地医療向上への貢献を目指す。

【教育活動の領域】

1. 「離島医療・保健実習」の実施

本県の特色である離島をフィールドとした「離島医療・保健実習」を、長崎大学医学部医学科 5 年次生（平成 27 年度からは 4 年次より開始）の必修カリキュラムである臨床実習の一環として平成 16 年度より導入した。この実習は、社会医学実習と総合診療科実習の一部を統合して再構築したカリキュラムで、長崎大学医学部医学科 5 年生全員がグループに分かれ、各々のグループが長崎県離島に滞在し、5 日間にわたって保健・医療・福祉について体験実習を行う地域包括ケアに関する教育プログラムである。平成 27 年度からは前倒しして 4 年次生より臨床実習を開始することになった。離島・へき地医療学講座が全体的なマネジメントを行い、総合診療科、公衆衛生学教室と共同で担当している。

平成 16 年度は五島市のみで実施していたが、平成 17 年度には新たに新上五島町と小値賀町の施設に参加してもらい、加えて平成 19 年度からは対馬市、平成 27 年度からは壱岐市の施設が参加している。平成 27 年度からは医学部保健学科生を対象とした「離島医療・保健実習」を開始した。平成 27 年度は平成 27 年 6 月 1 日から平成 28 年 3 月 4 日にかけて、壱岐コース 22 名（医学部保健学科 4 名含む）、対馬コース 12 名、上五島コース 36 名、下五島コース 80 名（医学部保健学科 10 名含む）の合計 150 名の医学部医学科 4、5 年生・医学部保健学科 4 年生に対して離島医療・保健実習を実施した。

【「離島医療・保健実習」の大学担当と教育担当施設及び代表者】

1) 担当

講 座・教 室 名	代 表 者 名
総合診療科	大園 恵幸
公衆衛生学	青柳 潔
離島・へき地医療学講座	前田 隆浩
公衆衛生看護学講座	大西 真由美
薬学部薬学科 病院薬学	塚元 和弘
歯学部歯学科 卒前・卒後歯学臨床教育	角 忠輝
歯学部口腔保健学	齋藤 俊行

2) 教育担当施設

施 設 名	代 表 者 名
長崎県五島中央病院	村瀬 邦彦
長崎県奈留病院	津田 俊彦
聖マリア病院	梅木 公子
長崎県上五島病院	八坂 貴宏
長崎県有川医療センター	八坂 貴宏
長崎県対馬病院	川上 眞寿弘
医療法人 山内診療所	宮崎 昭行
五島市国民健康保険三井楽診療所	田中 孝和
五島市国民健康保険玉之浦診療所	山下 貴知男
五島市国民健康保険伊福貴診療所	中野 文耕
医療法人 みどりが丘クリニック	神野浦 潔
五島市国民健康保険久賀診療所	甲斐 有司
小値賀町国民健康保険診療所	田中 敏己
豊玉診療所	賀茂 和典
長崎県五島保健所	後藤 尚
長崎県対馬保健所	西畑 伸二
五島市健康政策課（保健センター）	出口 法隆
五島市長寿介護課	川端 久章
新上五島町健康保険課	荒木 宣貴
対馬市福祉保健部 健康増進課	財部 恭子
対馬市社会福祉協議会	松井 旦壽
五島市社会福祉協議会	野原 寅男

新上五島町社会福祉協議会	森藤 敏幸
幸生会 特別養護老人ホーム“わたづみ”	津屋 秀則
訪問看護ステーション“鑑瀬”	塩塚 和子
訪問看護ステーション“福江”	柿森 悦子
あすか福祉会 あすか訪問看護ステーション	素花 源之
小規模通所授産施設“ふれあい”	片山 伸子
地域活動支援センター“きらり”	築城 洋二
地域活動所“いろえんぴつの家”	原 節子
介護老人保健施設 つくしの里	平本 高嗣
高齢者総合ケアセンター只狩荘	山田 峰雄
サポートセンター きらり	入江 善充
福江薬局濠前店	菅原 正典
あおぞら薬局	岩元 美和子
ニック調剤薬局ごとう店	井上 広平
あおかた調剤薬局	山中 國暉
鈴木薬局	鈴木 慎太郎
そうごう薬局 上五島店	山上 隆
ありかわ調剤薬局	下辺 寛弥
壮快堂薬局	坂谷 和芳
ゆうとく薬局	平山 匡彦
あい調剤薬局 南町店	田中 秀和
富江薬局	山本 敬子
桜町調剤薬局 三井楽店	山口 建
こまき歯科医院	小牧 憲明
近藤歯科医院	近藤 勝則
よこやま歯科医院	横山 顕一
岐宿町国保歯科診療所	溝口 勝令
伊福貴歯科診療所	井川 一成
五島医師会	浦 繁郎

3. 高次臨床実習

長崎大学では5年次の臨床実習に続く6年生の臨床実習として「高次臨床実習」を平成16年度より開始した。これは学生自らが再度実習を受けたい診療科を選択し、長期間（4～5週間）にわたってハイレベルな臨床実習を行うもので、平成17年度から上五島病院、五島中央病院で、また、平成22年度からは対馬いづはら病院と中対馬病院（現在は長崎県対馬病院）においても実施できるよう整備した。平成27度には五島中央病院で5名、上五島病院で2名、計7名の6年生に対して高次臨床実習を行った。

	内科（系）	外科（一般）	放射線科	合計（人）
五島中央病院	2	1	2	5
上五島病院	2	0	0	2
対馬病院	0	0	0	0
合計（人）	4	1	2	7

4. 他大学医学生の実習受け入れ

本学が整備した地域医療人教育フィールド（新上五島町、五島市、対馬市）において、他大学からの医学実習生を平成18年度より受け入れているが、平成27年度は下記表の通り名の医学生に対して長崎県離島での地域医療教育を行った。

福岡大学	12
杏林大学	1
徳島大学	5
鹿児島大学	1
帝京大学大学院 公衆衛生学研究科 専門職学位課程	1
東邦大学	1
合計	21

（地域医療セミナーIN GOTOを除く）

5. 他学部生の実習受け入れ

また、平成19年度より長崎大学薬学部生を対象とした「離島医療・福祉・保健実習」を開始し、平成20年度から長崎大学歯学部生を対象とした「離島歯科医療・地域保健福祉実習」を開始した。平成27度は、薬学部生16名（6年生）、歯学部生52名（5,6年生）を受け入れ、主に保健と福祉分野において医学部4,5年生との共修を行った。

6. 医学ゼミ「第3回長崎地域医療セミナー-IN GOTO」の開催

長崎大学医学部医学科に地域枠および地域特別枠で入学した学生に対して、医療を通じての早期からの地域との関わり合いを提供し、地域医療の発展に寄与し、離島やへき地での医療に貢献できる医療人の育成を目指して開始したセミナーである。

(1) 場所：五島市富江町公民館（長崎県五島市富江町）

(2) 日時：平成27年8月21日(金)～8月23日(日)（2泊3日）

(3) 参加者：42名（長崎大学25名、長崎純心大学11名、久留米大学2名、
近畿大学1名、日本大学1名、徳島大学1名、山口大学1名）

(4) 内容：(1) 講義・実習 (2) ワークショップ (3) 五島市表敬訪問 (4) 施設見学

(1) 講義・実習

「地域医療学入門」（小屋松 淳 長崎大学 地域医療学分野）

「五島の家庭医療 NEXT ジェネレーション！」

（佐野 潔 徳洲会グループ 家庭医療部）

「手ぶらでマスター～明日から役立つ多職種連携～」

（中桶 了太 長崎大学 へき地病院再生支援教育機構）

「日本の医療・介護政策の最前線」

（栃本 一三郎 上智大学 総合人間科学部 社会福祉学科）

「救急現場での対応」（山下 和範 長崎大学病院 救命救急センター）

「離島医療を担うためのキャリア形成」（八坂 貴宏 長崎県上五島病院）

「地域住民の持つパワーとは～限界集落の調査研究を踏まえて～」

（渡辺 裕一 武蔵野大学 人間科学部）

「”その人らしさ”を支える多職種連携の実際」

（宮川 江利 長崎みなとメディカルセンター市民病院）

(2) ワークショップ

「『くらし』を支える診療・支援を考える」

(3) 五島市表敬訪問（東條 一行 理事兼総務課長）

(4) 施設見学：五島中央病院、リハビリセンターふくえ、久賀診療所、
ひさかデイサービスセンター、伊福貴診療所、山内診療所、
聖マリア病院、マリアの園、奈留医療センター、富江病院、
只狩荘

【指導者一覧(50音順)】

氏名	所属・役職
青柳 潔	長崎大学 公衆衛生学分野 教授
出口 法隆	五島市 健康政策課 課長
浦 繁郎	五島医師会 会長
奥村 あすか	長崎純心大学 医療・福祉連携センター 助教
甲斐 有司	五島市久賀診療所 所長
門田 耕一郎	長崎大学 地域医療学分野 助教
小原 則博	長崎県富江病院 病院長
小屋松 淳	長崎大学 地域医療学分野 助教
佐野 潔	徳洲会グループ 地域家庭医療センター長
潮谷 有二	長崎純心大学 医療・福祉連携センター 教授
清水 悠路	長崎大学 地域医療学分野 講師
津田 俊彦	長崎県奈留医療センター 所長
柄本 一三郎	上智大学 総合人間科学部 社会福祉学科 教授
中桶 了太	長崎大学病院 へき地病院再生支援・教育機構 准教授
永田 康浩	長崎大学 地域包括ケア教育センター 教授
永友 貴之	長崎純心大学 入試広報課 課長
永吉 真子	長崎大学 地域医療学分野 助教
中野 文耕	五島市伊福貴診療所 所長
西村 詠慈	五島市伊福貴診療所 看護師
西村 貴孝	長崎大学 公衆衛生学分野 助教
野原 寅男	五島市社会福祉協議会 会長
信吉 正治	長崎大学 離島・へき地医療学講座 助教
浜脇 清市	五島医師会 事務局長
前田 隆浩	長崎大学 地域医療学分野 教授
宮川 江利	長崎みなとメディカルセンター 市民病院 MSW
宮崎 昭行	医療法人山内診療所 所長
宮野 澄男	長崎純心大学 医療・福祉連携センター 准教授
村瀬 邦彦	長崎県五島中央病院 病院長
許田 明	リハビリセンターふくえ 医師
八坂 貴宏	長崎県上五島病院 病院長
山下 和範	長崎大学病院 救命救急センター 准教授

山下 義文	お告げのマリア修道会 聖マリア病院 医師
山田 峰雄	特別養護老人ホーム 只狩荘 施設長
山梨 啓友	長崎大学 離島・へき地医療学講座 助教
吉田 麻衣	長崎純心大学 医療・福祉連携センター 助教
渡辺 裕一	武蔵野大学 人間科学部 社会福祉学科 准教授

【協力者一覧(50音順)】

氏 名	所 属・役 職
川上 弥久美	五島市 伊福町自治会長
相良 尚彦	五島市 市議会議員
東條 一行	五島市 理事兼総務課長
野口 市太郎	五島市 市長
馬場寄 誠	五島市 市民
和田 嘉毅	NPO 法人 島の医療とくらしを考える会 理事長

【長崎大学スタッフ一覧(50音順)】

氏 名	所 属・役 職
小澤 留美	長崎大学 離島医療研究所 事務補佐員
久保 千羽	長崎大学 離島医療研究所 事務補佐員
重村 由香	長崎大学 離島医療研究所 秘書
田尾 満里子	長崎大学 予防医科学研究所 事務補佐員
辻野 耕平	長崎大学 医学部 医学科 3年生
野原 夏樹	長崎大学 離島医療研究所 学生担当
藤津 宏隆	長崎大学 医学部 医学科 3年生
的野 智子	長崎大学 予防医科学研究所 事務補佐員
村崎 喜代美	長崎大学 離島医療研究所 運転手

【学生実行委員一覧(50音順)】

氏 名	所 属・役 職
荒倉 由佳	長崎大学 医学部 医学科 3年
内田 直子	長崎大学 医学部 医学科 2年
鈴田 紘子	長崎純心大学 人文学部 人間心理学科 3年
戸口 四郎	長崎純心大学 人文学部 社会福祉学科 4年
森 颯馬	長崎大学 医学部 医学科 3年 学生実行委員長

【受入学生数のまとめ】

	H16 年度	H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度 ⁵	H21 年度 ⁵	H22 年度 ⁰	H23 年度 ⁰	H24 年度 ⁰	H25 年度	H26 年度	H27 年度	
長崎大学医学部 1 年生													72
長崎大学医学部 2 年生					6	5	5	12	6	8	6	8	56
長崎大学医学部 3 年生							5	7	9	7	6	7	41
長崎大学医学部 4 年生						1						20	21
長崎大学医学部 5 年生	96	108	80	102	110	92	113	105	97	100	102	116	1,221
長崎大学医学部 6 年生		5	12	9	15	18	16	14	12	12	4	7	124
長崎大学医学部保健学科 4 年生												14	14
長崎大学薬学部				79	85	5	7	21	29	28	24	16	294
長崎大学歯学部 5・6 年生					5	41	62	47	53	44	18	52	322
他大学			9	15	32	29	11	22	24	38	18	21	219
家庭医療集中セミナー			31	26	33	26	30	14	22				182
地域医療セミナー IN GOTO										1	12	17	30
合 計	96	113	132	231	291	222	259	252	262	248	202	288	2,596

* 平成 25・26・27 年度の地域医療セミナー IN GOTO の参加者総数は、医学部 1 年生、2 年生、3 年生と家庭医療集中セミナー・地域医療セミナー IN GOTO の欄の合算となる。

* 平成 25・26 年度の家庭医療集中セミナー・地域医療セミナー IN GOTO の欄は学外からの参加者数である。

7. 教育関連講演会・研究会の開催と発表

1) 離島医療教育研究会・施設訪問

「離島医療・保健実習」をより充実したものとするため、長崎大学担当者と指導担当者、そして学生の意見交換の場として壱岐市、対馬市、五島市、新上五島町で離島医療教育研究会を開催した。この研究会・施設訪問ではレポートやアンケートからまとめた学生の意見を指導担当者に提示し、逆に指導担当者の学生や実習に対する意見を集約するとともに、地域医療教育に関する特別講演を行った。

日 時	開催場所	対 象	参加者数
平成 27 年 6 月 11 日	長崎県壱岐病院	壱岐市教育担当者	46 名
平成 27 年 10 月 16 日	対馬グランドホテル	対馬市教育担当者	31 名
平成 28 年 3 月 10 日	長崎県上五島病院	新上五島町教育担当者	38 名
平成 27 年 3 月 5 日	長崎県五島中央病院	五島市教育担当者	59 名

・壱岐離島医療教育研究会

演題：「壱岐における地域包括ケアシステムの展望」

長崎県壱岐病院 病院長 向原 茂明 先生

演題：「地域ぐるみの医療人教育～地域との本格連携を目指して～」

長崎大学 地域医療学分野 教授 前田 隆浩 先生

・対馬離島医療教育研究会

演題：福岡大学医学部の早期臨床教育と離島研修

福岡大学 医学教育推進講座 教授 安元 佐和 先生

演題：教育効果からみた効果的な地域医療実習プログラム

神戸大学 地域医療教育学部門 教授 岡山 雅信 先生

・上五島離島医療教育研究会

演題：教育効果からみた効果的な地域医療実習プログラムの提案

神戸大学大学院 地域医療教育学部門 教授 岡山 雅信 先生

演題：上五島病院における地域医療実習の現況

長崎県上五島病院 病院長 八坂 貴宏 先生

・下五島離島医療教育研究会

演題：離島医師を目指し学生のうちから離島実習を重ねて

産婦人科医になった人間からみた離島での学生実習の効果

長崎県対馬病院 産婦人科 山内 祐樹 先生

【学術・研究の領域】

1. 学術・研究活動

1) 学術論文・著書など (→添付資料参照)

- ① 小屋松淳、後田洋子、桑原義典、村瀬邦彦、神田哲郎、前田隆浩、森内浩幸、「当院で経験した一過性高アルカリフォスファターゼ血症の一女兒例」、五島中央病院紀要17, p3-5, 2015
- ② Yamanashi H, Shimizu Y, Nelson M, Koyamatsu J, Nagayoshi M, Kadota K, Tamai M, Ariyoshi K, Maeda T. The association between living alone and frailty in a rural Japanese population: the Nagasaki Islands study. *J Prim Health Care* 7(4), 269-273, 2015
- ③ Shimizu Y, Sato S, Koyamatsu J, Yamanashi H, Nagayoshi M, Kadota K, Maeda T. Circulating CD34-positive cells, glomerular filtration rate and triglycerides in relation to hypertension. *Atherosclerosis* 243(1), 71-76, 2015
doi: 10.1016/j.atherosclerosis.2015.08.035. Epub 2015 Sep 2.
- ④ Yamanashi H, Koyamatsu J, Nobuyoshi M, Murase K, Maeda T. Exercise-Induced Pulmonary Edema in Triathlon. *Case Report in Medicine* 2015, 968152, 4, 2015
doi: [org/10.1155/2015/968152](https://doi.org/10.1155/2015/968152)
- ⑤ Shimizu Y, Kadota K, Koyamatsu J, Yamanashi H, Nagayoshi M, Noda M, Nishimura T, Tayama J, Nagata Y, Maeda T. Salt intake and mental distress among rural community-dwelling men. *J Physiol Anthropol* 34(1), 26, 2015
doi: [10.1186/s40101-015-0064-4](https://doi.org/10.1186/s40101-015-0064-4).
- ⑥ Sato S, Shimizu Y, Hayashida N, Nagayoshi M, Koyamatsu J, Yamanashi H, Kadota K, Nakazato M, Inoue K, Takamura N, Oozono Y, Maeda T. Associations of carotid atherosclerosis and hyperuricemia with height in relation to drinking status of rural Japanese men: The Nagasaki Islands study. *Acta Med Nagasaki* 59(3), 77-82, 2015
<http://hdl.handle.net/10069/35219>
- ⑦ Shimizu Y, Nakazato M, Kadota K, Sato S, Koyamatsu J, Arima K, Yamasaki H, Takamura N, Aoyagi K, Maeda T. Association between white blood cell count and

diabetes in relation to triglycerides-to-HDL cholesterol ratio in a Japanese population: The Nagasaki Islands study. *Acta Med Nagasaki* 59(3), 91-97, 2015
<http://hdl.handle.net/10069/35221>

- ⑧ Shimizu Y, Nakazato M, Sekita T, Kadota K, Miura Y, Arima K, Yamasaki H, Goto H, Takamura N, Aoyagi K, Maeda T. Height and drinking status in relation to risk of anemia in rural adult healthy Japanese men: the Nagasaki islands study. *Aging Male* 18 (2), 100-105, 2015
- ⑨ Shimizu Y, Nakazato M, Sato S, Koyamatsu J, Yamanashi H, Nagayoshi M, Kadota K, Hayashida N, Yamasaki H, Kusano Y, Takamura N, Aoyagi K, Maeda T. Association between hemoglobin A1C and carotid atherosclerosis in rural community-dwelling elderly Japanese men. *J Physiol Anthropol.* 2015;34:16.

2) 学会発表、講演活動（シンポジウム、パネルディスカッション、フォーラムを含む）

【学会発表】

- ① 「長崎県五島市におけるクラウド型電子お薬手帳の開発と活用」 小屋松淳、山梨啓友、清水悠路、永吉真子、前田隆浩、第 74 回日本公衆衛生学会、長崎ブリックホール 1 階 ホワイエ、2015 年 11 月 6 日
- ② 「HbA1c 低値と頸動脈硬化との関連」 永吉真子、清水悠路、小屋松淳、山梨啓友、玉井慎美、有馬和彦、青柳潔、前田隆浩、第 74 回日本公衆衛生学会、長崎新聞文化ホール 2 階翔鶴の間、2015 年 11 月 6 日
- ③ 「脳 MR における微小出血 (Cerebral Microbleeds) と身長との関連」 山梨啓友、清水悠路、小屋松淳、永吉真子、玉井慎美、前田隆浩、第 74 回日本公衆衛生学会、長崎新聞文化ホール 2 階翔鶴の間、2015 年 11 月 5 日
- ④ 「脳卒中リスクとしての低身長」 清水悠路、小屋松淳、永吉真子、玉井慎美、有馬和彦、青柳潔、前田隆浩、第 74 回日本公衆衛生学会、長崎新聞文化ホール 2 階翔鶴の間、2015 年 11 月 5 日
- ⑤ 「医学部医学科生における地域包括ケア教育プログラムの効果測定：RIPLS を用いたベースライン調査」 濱口由子、相良郁子、久芳さやか、牟田久美子、松坂雄亮、石居公之、安武亨、前田隆浩、永田康浩、第 47 回日本医学教育学会、2015 年 7 月 25 日、ポスター会場 1（朱鷺メッセ 2 階中会議室 201）
- ⑥ 「離島医療保健実習における学生の意識変化～テキストマイニングによる評価を用いて～」 小屋松淳、山梨啓友、門田耕一郎、清水悠路、永吉真子、吉田麻衣、奥村あすか、

- 宮野澄男、潮谷有二、大園恵幸、青柳潔、前田隆浩、第 47 回日本医学教育学会、2015 年 7 月 24 日、第 5 会場（朱鷺メッセ 3 階中会議室 302A）
- ⑦ 「五島市における医療介護職を対象とした摂食・嚥下ケア事業」小山善哉、齋藤俊行、玉川春美、前田隆浩、澤頼隆、中山浩次、九州口腔衛生学会平成 27 年度総会、2015 年 9 月 6 日、長崎県歯科医師会館（※資料無し）
- ⑧ 「住民健診において糖尿病を Triglyceride-HDL cholesterol 比で分類する有用性の検討」門田耕一郎、清水悠路、野口優子、永吉真子、山梨啓友、小屋松淳、前田隆浩、2015 年 6 月 14 日、つくば国際会議場ポスター会場（1 階第会議室 101+102）
- ⑨ 「地域調剤情報共有化システムの開発と活用の取組」小屋松淳、山梨啓友、出口法隆、吉谷清光、菅原正典、前田隆浩、2015 年 6 月 14 日、つくば国際会議場第 5 会場（2 階中会議室 201B）
- ⑩ “The association between single household family structures and frailty in a rural Japanese male population” Horotomo Yamanashi, Yuji Shimizu, Mark Nelson, Jun Koyamatsu, Mako Nagayoshi, Koichiro Kadota, Koya Ariyoshi, and Takahiro Maeda, 2015 年 6 月 13 日、つくば国際会議場第 4 会場（2 階中会議室 201A）
- ⑪ 「地域包括ケアシステムを教育資源として活用する医学教育の取り組み」松坂雄亮、濱口由子、相良郁子、牟田久美子、石居公之、久芳さやか、安武享、前田隆浩、永田康浩、第 6 回日本プライマリ・ケア連合学会、2015 年 6 月 13 日、つくば国際会議場第 4 会場（2 階中会議室 201A）
- ⑫ 「腎機能低下に関連した頸動脈硬化と高尿酸血症の関係 Carotid Atherosclerosis and Hyperuricemia in Relation to Renal Impairment」清水悠路、佐藤晋平、小屋松淳、山梨啓友、永吉真子、門田耕一郎、有馬和彦、青柳潔、前田隆浩、第 72 回日本生理人類学会、2015 年 5 月 31 日、北海道大学医学部学友会館「フラテ」
- ⑬ The association between single household family structures and frailty in a rural Japanese population: the Nagasaki Islands study、International Conference on Frailty and Sarcopenia Research、2015 年 04 月 22 日 山梨啓友
- ⑭ 「中央ベトナムにおいて入院した脳卒中患者の発生率および致命率に関する研究」山梨啓友、鈴木基、西田レイミント、清水悠路、前田隆浩、有吉紅也、第 112 回日本内科学会、2015 年 4 月 11 日、京都市みやこめっせ（京都市勧業館）ポスターセッション会場 第 13 ブース（地下 1 階・第 1 展示場内）
- ⑮ 「形質細胞様樹状細胞における MHC class II 発現抑制因子 CIITA の転写調節に対する PU.1 の役割 The role of PU.1 in the transcription of CIITA that is essential for MHC class II in plasmacytoid dendritic cells」三浦亮介、笠倉和巳、中野信

浩、前田隆浩、八代拓也、西山千春、日本農芸化学会 2015 年度大会、2015 年 3 月 28 日、ホテルグランヴィア岡山、岡山大学津島キャンパス（※資料無し）

- ⑯ 「糖尿病を Triglyceride-HDL cholesterol 比で分類する有用性」清水悠路、門田耕一郎、山梨啓友、小屋松淳、永吉真子、佐藤晋平、前田隆浩、日本プライマリ・ケア連合学会長崎支部・第 2 回総会・学術集会、2015 年 2 月 14 日、長崎大学医学部第 1 講義室（※資料無し）
- ⑰ 「高血圧の影響を考慮したヘモグロビンと肝細胞増殖因子（HGF）の関係」清水悠路、永吉真子、門田耕一郎、佐藤晋平、小屋松淳、山梨啓友、前田隆浩、日本疫学会・第 26 回学術総会、2015 年 1 月 22 日、米子コンベンションセンターBigship
- ⑱ 「長崎県島におけるリウマチ検診の試み：1 年目及び 2 年目の報告」玉井慎美、永吉真子、小屋松淳、山梨啓友、門田耕一郎、清水悠路、西村貴孝、有馬和彦、青柳潔、前田隆浩、川上純、日本疫学会・第 26 回学術総会、2015 年 1 月 23 日、米子コンベンションセンターBigship
- ⑲ 「離島地域の認知症患者が受診に至るまでの期間に与える要因の検討（中間報告）」永吉真子、清水悠路、山梨啓友、小屋松淳、玉井慎美、小田孝、橋口知幸、田中大三、吉田真太郎、岩永健、小澤寛樹、前田隆浩、日本疫学会・第 26 回学術総会、2015 年 1 月 23 日、米子コンベンションセンターBigship

【シンポジウム、パネルディスカッション、講演会など】

- ① 第 8 回全国シンポジウム「地域推薦枠医学生の卒前・卒後教育をどうするか?」、前田隆浩「地域医療教育と地域枠制度の実態～地域医療教育に関する全国調査の結果から～」、JP タワーホール&カンファレンス 4 階、2016 年 2 月 19 日
- ② 平成 26 年度医学教育研究助成報告会、前田隆浩「全国実態調査による地域医療教育の課題および解決策の検討」、第一ホテル東京 4 階「フローラ」、2015 年 12 月 22 日
- ③ 第 4 回秋田大学全国シンポジウム「日本の国情・2 次医療圏の実情を熟考して 理想的医師・医療者育成教育の展開を考える 2015」、①「第 3 回長崎地域医療セミナーin GOTO ～五島に来て、見て、気づいた多職種連携 広がる可能性」、②「長崎多職種連携・たまごの会」～たまごたちが動きだした！医療と福祉のイノベーション from 長崎～、秋田キャッスルホテル 4 階矢留の間、2015 年 11 月 7 日
- ④ 久留米大学地域医療講演会「地域ぐるみの医療人育成～地域との本格連携を目指して～」、久留米大学筑水会館中会議室、2015 年 11 月 5 日
- ⑤ 地域医療フォーラム 2015 「2025 へ向けた地域医療の展望と創造～地域医療構想を踏まえて、さまざまな立場から考える～」、第 2 分科会「これからの地域医療提供体制づくりに

資する大学・医育機関の役割」での発表「総合診療専門医について」、秋葉原ダイビル 5 階 C 会議室、2015 年 9 月 20 日

【講義】

- ① 保健学科講義「離島の暮らしと保健医療」長崎大学医学部保健学科 1 階 101 教室
2015 年 10 月 5 日(前田 隆浩)
- ② 地域医療学総論講義「地域医療を担う医療人を育成する」
自治医科大学 2015 年 9 月 11 日(前田 隆浩)
- ③ 長崎大学医学部 4 年生社会医学講義「医師法、医療法・医療計画、医療費適正化計画」
「在宅医療、介護保険、へき地・離島」、長崎大学病院臨床講義棟 1 階第 3 講義室
2015 年 7 月 16 日(前田隆浩)
- ④ 平成 27 年度医と社会講義(4 年生)、江田佳子
長崎大学医学部基礎研究棟 1 階第 1 講義室 2015 年 7 月 2 日(前田 隆浩)
- ⑤ 歯学部講義「離島歯科医学 4：離島の定義、特徴および離島医療について」
歯学部講義室 6B 2015 年 5 月 29 日(前田 隆浩)

【座長】

- ① 第 74 回日本公衆衛生学会第 2 分科会「ヘルスプロモーション」座長、長崎ブリックホール 1 階ホワイトエ、2015 年 11 月 6 日
- ② 平成 27 年度バンビの会療育相談会 in 五島の座長、①近藤達郎「ダウン症候群の現状と問題点」、②本山和徳「巡回療育相談と発達症」、五島市福江総合福祉保健センター 4 階ホール、2015 年 11 月 1 日
- ③ 長崎大学地域医療フォーラム～地域医療人育成のロードマップを描く～の特別講演「総合診療に必須な能力とその教育方法」(竹村洋典先生)の座長、長崎大学ポンペ会館 1 階講義室、2015 年 10 月 31 日
- ④ 長崎大学地域医療包括ケア教育センターシンポジウム「長崎から発信する「医療と福祉の融合と調和」、特別講演Ⅱ「社会医学的な視点と総合診療医の役割」有賀徹先生(昭和大学病院長、日本専門医機構副理事長)の座長、長崎大学医学部記念講堂、2015 年 10 月 17 日
- ⑤ 地域医療フォーラム 2015「2025 へ向けた地域医療の展望と創造～地域医療構想を踏まえて、さまざまな立場から考える～」、第 2 分科会「これからの地域医療提供体制づくり」に資する大学・医育機関の役割」の座長、秋葉原ダイビル、2015 年 9 月 20 日
- ⑥ 第 11 回日本病院総合診療医学会学術総会一般演題【臨床研究 5 発熱】の座長、第 1 会場(奈良春日野国際フォーラム 豊～I・RA・KA～(旧奈良県新公会堂)能楽ホール)、2015 年 9 月 5 日

- ⑦ 第 11 回日本病院総合診療医学会学術総会ランチョンセミナー2「出血性疾患における診断へのアプローチ～後天性血友病に気をつけて～」(野上恵嗣先生、奈良県立医科大学小児科)の座長、第3会場(奈良春日野国際フォーラム薨～I・RA・KA～(旧奈良県新公会堂)会議室3・4)、2015年9月4日
- ⑧ 第6回日本プライマリ・ケア連合学会学会ジョイントプログラム「プライマリ・ケアで専門職連携を行うための基本的スキルは何か(日本医学教育学会)(実行委員会企画)の座長、つくば国際会議場第13会場(4階小会議室405)、2015年6月14日
- ⑨ 長崎大学地域包括ケア教育センターシンポジウム、未来医療研究人材養成拠点形成事業「リサーチマインドを持った総合診療医の養成」、つなぐ医療を育む先導的教育研究拠点の構築 -人と人、場と場、ケアとリサーチをつなぐ総合診療医の養成 -、「長崎が目指す未来の地域包括ケアの姿」、特別講演I:西川宜宏(厚生労働省医政局地域医療計画課課長補佐)「2025年に向けた医療提供体制の構築について」の座長、メルカつきまち長崎市民生活プラザホール、2015年2月7日

3) その他の発表 (→添付資料参照)

- ① 「医学部探訪●長崎大学「離島医療、感染症診療の特色磨く」、日経メディカル12月、日経BP社、2015年
- ② 「Common disease 診療のためのガイドライン早わかり『アルコール関連問題』」総合診療のGノート、Vol.2、No.6(12月号)、p941-948、2015、羊土社
- ③ 「地域医療教育に関する全国調査 報告書」公益財団法人医学教育振興財団平成26年度医学教育研究助成事業
- ④ 「Lecture:地域医療教育に対する提言-地域との本格連携を目指して- Recommendation for community-based medical education: Aiming for full cooperation with the community」日本の地域医療教育イノベーションVol.7、尾島医学教育研究所、カイ書林、2015年5月16日、p33-51
- ⑤ 「飲酒と喫煙」人間科学の百科事典、日本生理人類学会編、丸善出版、2015年1月25日、p456-458
- ⑥ 「遺伝子とがん」人間科学の百科事典、日本生理人類学会編、丸善出版、2015年1月25日、p43-44
- ⑦ 「へき地医療」長崎市医師会報 Vol.49 No.3(第577号)、2015年3月号
- ⑧ 「第3章 総合診療でよくある悩ましい状況における感染症診療『1 高齢者の感染症(病院編)』」総合診療のGノート増刊vol.3、No.2、P89-98、2016、羊土社
- ⑨ 「Chapter3 Approaches for Gene-Environment Interaction Analysis:Practice of Regional Epidemiological Study」Gene-Environment Interaction Analysis、P74-119

- ⑩ 「予防医学の共同大学院構想も」長崎大学広報誌C h o h o、Vol. 51、P13
- ⑪ 「都道府県へき地保健医療計画の検証ならびに次期策定支援に関する研究」厚生労働科学研究費補助金、地域医療基盤開発推進研究事業、平成 26 年度～平成 27 年度 総合研究報告書、2016 年 3 月、P3-11
- ⑫ 「都道府県へき地保健医療計画の検証ならびに次期策定支援に関する研究」厚生労働科学研究費補助金、地域医療基盤開発推進研究事業、平成 27 年度 総括研究報告書 2016 年 3 月、P3-19

4) 教育マニュアルの作成、教育法の開発、事業報告書 (→添付資料参照)

- ① 「長崎五島列島発 地域医療のすすめ 2015」
- ② 「平成 27 年度 離島医療・保健実習 医・歯・薬合同学習要項」
- ③ 「平成 27 年度 地域医療教育に関する全国調査報告書」
- ④ 「つなぐ医療を育む先導的教育研究拠点の構築」

5) 研究費の獲得

- ① 日本学術振興協会 基盤研究 (B) (代表) (前田 隆浩)
無症候期から発症までを連結させた動脈硬化のリスクと病態生理に関するコホート研究
- ② 日本学術振興協会 基盤研究 (C) (分担) (前田 隆浩)
地域卒出身医師の進路に関するコホート研究
- ③ 厚生労働省 (難治性) (分担) (前田 隆浩)
HTLV-1 関連希難治性疾患における臨床研究の全国展開と基盤整備
- ④ 日本学術振興会 若手研究 (B) (代表) (山梨 啓友)
Microbleeds を用いた細動脈硬化症による脳卒中発症の病態解明
- ⑤ 長崎県地域医療の研究支援を目的とした医師団 (代表) (山梨 啓友)
頭部 MR における微小出血 (cerebral microbleed) の関連マーカーの開発

6) 講演活動など (→別紙【講演・講義など】参照)

7) 学術賞の授賞

8) 特許、実用新案等

特許権名称：新規ヒト形質細胞様樹状細胞株
出願年月日：2005 年 8 月

取得年月日：2012年6月

番号：特願 2005-234389

9) 具体的活動内容

① 地域疫学研究

五島市の基本健康診査と連携して一般住民のデータとサンプル 655 検体を収集し、生活習慣病（動脈硬化を含む）に関連する因子の血中濃度や虚弱度、睡眠との関連を解析した。

1) CD-34

2) HGF

3) Frailty Index for Japanese elderly (FI-J)

② 共同研究

主に五島市を研究フィールドとして医・歯・薬統合研究を展開している。歯学部との共同研究としては歯周病と動脈硬化に関連した研究を行った。

また、五島市、五島薬剤師会、五島医師会等と連携し、全ての調剤薬局を ICT でつなぎ、持ち込まれる処方箋情報をクラウドサーバー上に一元管理するシステムを開発し、稼働させている。このシステムからの調剤実態調査をもとに、流行性疾患の早期検出と予防、医療経済学的な影響、疑義照会情報との関連について研究し、調剤情報共有システムの有効性の検証を進めている。

③ 医学教育研究

医学教育研究としては、長崎大学医学部 5 年生が抱く離島医療に対する意識調査を行い、この意識が「離島医療・保健実習」前後にどのような変化が生じるのかについて、平成 26 年度に引き続きアンケート調査を行った。

2. 医療活動

1) 医療

地域医療への貢献を目的として、下記の医療機関へ診療応援を行った。
長崎県五島中央病院、長崎県富江病院、五島市健康保険三井楽診療所
久賀診療所

2) 基本健康診査

五島市が行う基本健康診査へ診察医として協力した。

【組織運営の領域】

1. 大学教育におけるカリキュラム作成とその実施に係る活動

1) 平成 27 年度「離島医療・保健実習」

医学部医学科 5 年生を対象とした地域医療と社会医学の統合実習

2) 平成 27 年度「離島医療・保健実習」

歯学部 6 年生を対象とした離島歯科医療と地域保健福祉実習

【社会貢献の領域】

1. 学会・委員会等の活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
前田隆浩・教授	五島地区肝炎対策委員会	五島保健所
前田隆浩・教授	長崎県油症対策委員会	長崎県
前田隆浩・教授	五島中央病院倫理委員会	長崎県五島中央病院
前田隆浩・教授	新型インフルエンザ対策協議会	長崎県五島保健所
前田隆浩・教授	五島保健所地域・職域連携推進協議会	長崎県五島保健所
前田隆浩・教授	医師試験委員会	厚生労働省
前田隆浩・教授	長崎県医師会医療政策・診療報酬等対策協議委員会	長崎県医師会
前田隆浩・教授	五島中央病院治験審査委員会	長崎県五島中央病院
前田隆浩・教授	五島中央病院群研修管理委員会	長崎県五島中央病院
前田隆浩・教授	日本生理人類学会評議員	日本生理人類学会
前田隆浩・教授	日本病院総合診療医学会評議員	日本病院総合診療医学会
前田隆浩・教授	五島市保健対策推進協議委員会	五島市
前田隆浩・教授	五島市予防接種健康被害調査委員会	五島市
前田隆浩・教授	国民体育大会五島市実行委員会	五島市
前田隆浩・教授	長崎県保健医療対策協議会 離島医療部会	長崎県
前田隆浩・教授	地域医療フォーラム実行委員会	自治医科大学
前田隆浩・教授	へき地保健医療対策検討会	厚生労働省
前田隆浩・教授	日本プライマリ・ケア連合学会理事	日本プライマリ・ケア連合学会
前田隆浩・教授	日本プライマリ・ケア連合学会長崎県支部会副会長	日本プライマリ・ケア連合学会長崎県支部会
前田隆浩・教授	全国医学部長病院長会議地域医療検討委員会	全国医学部長病院長会議
前田隆浩・教授	日本医学教育学会地域医療・多職種連携教育委員会	日本医学教育学会
前田隆浩・教授	全国地域医療教育協議会代表世話人	全国地域医療教育協議会
前田隆浩・教授	ながさき健康・省エネ住宅推進協議会	ながさき健康・省エネ住宅推進協議会
前田隆浩・教授	長崎県・総合診療専門医養成推進委員会	長崎県
前田隆浩・教授	五島市保健対策推進協議会	五島市
前田隆浩・教授	スマートウェルネス住宅推進調査委員会	一般社団法人日本サステナブル建築協会

前田隆浩・教授	地域医療構想調整会議	長崎県五島保健所
前田隆浩・教授	第74回日本公衆衛生学会実行委員会副委員長	日本公衆衛生学会
前田隆浩・教授	ねんりんピック長崎2016五島市実行委員会	五島市
前田隆浩・教授	日本疫学会代議員	日本疫学会
前田隆浩・教授	第74回日本公衆衛生学会第2分科会「ヘルスプロモーション」・座長	第74回日本公衆衛生学会
前田隆浩・教授	平成27年度バンビの会療育相談会 in 五島・座長	バンビの会
前田隆浩・教授	地域医療フォーラム2015第2分科会・座長	自治医科大学
前田隆浩・教授	第11回日本病院総合診療医学会学術総会・座長	日本病院総合診療医学会
前田隆浩・教授	第11回日本病院総合診療医学会学術総会ランチョンセミナー2・座長	日本病院総合診療医学会
前田隆浩・教授	第6回日本プライマリ・ケア連合学会ジョイントプログラム・座長	日本プライマリ・ケア連合学会
前田隆浩・教授 山梨啓友・助教 (教室における社会活動)	五島市疾病対策研究会 (自治体と共同で、地域の疾病予防・健康増進を目的としてH25年12月から発足した「五島市疾病対策研究会」にメンバーとして参加している)	五島市健康政策課
山梨啓友・助教	第74回日本公衆衛生学会学術部会部(会員)	日本公衆衛生学会

2. 非常勤講師

氏名・職	職(担当科目)	関係機関名
前田隆浩・教授	非常勤講師(地域医療学)	国立大学法人 徳島大学
前田隆浩・教授	講師(地域医療学総論)	自治医科大学
前田隆浩・教授	講師(市民公開講座)	北海道公立大学法人 札幌医科大学
前田隆浩・教授	演者(第2回地域医療講演会)	久留米大学医学部
前田隆浩・教授	講師(第8回全国シンポジウム)	鹿児島大学病院
信吉正治・助教 永吉真子・助教	講師(平成27年度健康推進委員研修会 -糖尿病の治療と予防)	五島市役所 健康政策課

3. 地域医療への貢献

(診療応援) 長崎県五島中央病院、長崎県富江病院、
五島市国民健康保険三井楽診療所、久賀診療所

【広報活動など】 別紙参照

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
前田隆浩・教授	クラウド型お薬手帳で全薬局が患者情報収集-五島市が医療情報共有システムを導入	調剤と情報	2015年 7月	五島市内の全調剤薬局をITでつなぎ、持ち込まれる全ての処方箋情報をクラウドサーバーに一括管理するシステムを構築し、地域医療の効率化と安心・安全の医療提供に取り組んでいる。
前田隆浩・教授	医学部探訪●長崎大学「離島医療、感染症診療の特色磨く」	日経メディカル	2015年 12月	